

Windows 10 Version 1511にて特定ポートで印刷ができない事象について

平素は弊社製品をご利用頂き、誠にありがとうございます。

現在、Windows 10 Version 1511へアップデート後、Windowsドライバの特定のポートにおいて印刷できない事象が確認されております。

お客様にはご迷惑をおかけしますが、Windowsドライバから下記対象インターフェースを使用して印刷を行う場合は、OSのアップデートを行わないようお願い申し上げます。

対象 OS

Windows 10 Version 1511 (Build 10586) November Update (x86)

Windows 10 Version 1511 (Build 10586) November Update (x64)

対象インターフェース

パラレル (LPT ポート)

RS232C (COM ポート)

Bluetooth (COM ポート) * SPP 通信のため

対象機種

シリアルドットインパクトプリンタ : 全機種

サーマルプリンタ : 全機種

詳細

- ・対象のインターフェースを使用した Windows ドライバから印刷している方は、Windows 10 Version 1511 へのアップデートを行わないでください。印刷ができなくなります。
- ・これからパソコンの導入を検討している方は、パソコンの OS バージョンをご確認の上、上記に該当する場合は、USB または LAN ポートから印刷を行うシステム構成をご検討ください。
- ・Windows ドライバを使用しない印刷システム構成の場合は問題ありません。
 - 直接プリンタに印刷指示を行っているシステム
 - OPOS ドライバを使用した印刷システム (サーマルプリンタ)※OPOS ドライバを使用している場合、Windows ドライバをインストールしている場合は、Windows ドライバを削除するか、Windows ドライバのポートを FILE などに変更後、パソコンの再起動が必要になります。

以上